教科目標

医療専門課程
医療秘書・情報学科（昼間２年制）

養成目的

医療事務職として社会貢献する人材を育成することを目的とする。診療報酬請求においてはＤＰＣ算定におけるより高い知識・技術が必要となり、医療ＩＣＴの普及に伴って、電子カルテ操作や、ネットワーク管理などの知識も必要となっている。時代の変化に伴った業界が求める人材の育成を行い、医療機関から信頼される人材を育成する。

教育目的（ミッション）

医療事務分野で働く者として必要とされる診療報酬請求能力、医療情報処理、電子カルテシステム、コミュニケーションスキル、ＤＰＣ請求などの知識・技能を修得し、社会貢献を目的とする。また、チーム医療に貢献できる積極的で主体性を持った人材の養成を目標とする。

１．病院事務専攻

診療報酬請求点検の技術に長けたエキスパート及び電子カルテの代行入力や、各種医療文書の作成ができる能力の高い人材を養成する。

２．医療ＩＣＴ専攻（プラス１年専攻科在籍必要）

ＩＣＤコーディングやＤＰＣ、データベース操作、医療情報処理業務など最新の医事知識・技能を持ち合わせた診療情報管理士及び医療システム管理者として必要なネットワーク知識・技術を持ち合わせた医療情報技師を養成する。

養成目標（到達目標）

診療報酬請求をはじめとした各種知識・技能を身につけ、相手の立場に立った配慮、心遣いができるホスピタリティマインドを兼ね備えた人材の育成を目標とする。

取得目標資格

１．医療秘書技能検定
２．医事コンピュータ技能検定
３．秘書技能検定
４．サービス接遇実務検定.
５．電子カルテ実技検定
６．医療情報技師
７．医師事務作業補助者検定

就職分野

大学病院、総合病院、医療システム企業、電子カルテメーカー、調剤薬局、クリニックなど。

職種

病院窓口、医療クラーク（外来クラーク、医師事務作業補助者含む）、医療マネジメント職、診療情報管理士、医療システム管理者、電子カルテインストラクターなど。